

なんぶ

社会福祉だより

56

新年のご挨拶を申し上げます



新年明けましておめでとうございます。

平素は社会福祉事業推進に特段のご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、少子高齢化と人口減少社会が進む中、地方にあつては人口増加対策が大きな課題となっております。一方、独居・高齢者世帯は増加し、認知症対策など社会的弱者といわれる方への対応も急務となっており、利用者の立場に立った福祉施策が益々必要な取組みとなっております。

昨年力点を置いた事業の一つに、運営は「伯耆の国」に委託していますが、地域共生社会実現拠点施設「いくらの郷」の開設があります。いろいろな要因で社会参加が難しくなっている二人の方の受入れから始まりました。農業体験、食品製造などの体験を経て、町内事業所において就職前提の職場体験をされるまでになりました。大きな第一歩と喜んでおります。

地域の課題はまだまだ沢山ありますが、地域振興協議会、民生児童委員、地域福祉委員等々の皆様と連携・協力しながら、「共生社会」の実現に向けての運営に努めてまいりますので、本年も宜しくお願い申し上げます。

南部町社会福祉協議会

会長 藤友 裕美

5・6級ヘルパー認定式



夏休みボランティア体験に参加された中から今年以下記の皆さんが各ヘルパーに認定されました。所定の活動日数（小学生2日、中学生3日）を体験した児童・生徒さんには、南部町独自のヘルパー認定証が手渡されます。認定式当日は、5級ヘルパー認定証は町長より中学生に、6級ヘルパー認定証は社会福祉協議会会長より小学生の代表に手渡されました。

5級ヘルパーの皆さん41名

法勝寺中学校

勝田 敦也 川崎 柚 神田 萌花 瀬戸 研憂 戸田 美乙奈 藤 徹太
 乗本 美桜 米田和々愛 安達 比嘉 望愛 安達 恩重 正美 未侑
 遠藤浩太郎 種 優希那 比嘉 足立 植田晟太郎 栗木 咲花 前田 直樹
 青戸 佑星 朝賀 美翔 岩田 健介 門脇 倅 長原 海翔
 生田 航 晴 須山 真優

南部中学校

遠崎 日呼 白川 晴菜 杉原 日花 市原 美海 田部奈緒子
 伊藤 直人 今岡陽乃美 宇田川感太郎 岡崎 健吾 中島 拓音
 小早川華緒 小早川博紀 原明 弥 都田 夕葉 坂田 悠樹
 村上 紗菜

6級ヘルパーの皆さん16名

会見小学校

土手口卓駿 野口 幹 山中 脩司
 板垣 蒼依 潮 帆乃香

会見第2小学校

平木 安那 宮本 莉恋

西伯小学校

石田 結衣 田中菜々美 田部奈緒子
 吉原 桃香 北尾 涉 中島 拓音
 船原 茉那 北尾 創 坂田 悠樹

平成30年度

南部町社会福祉協議会会長表彰

平成三十年度の南部町社会福祉協議会会長表彰は、個人二十四名が受賞されました。十月二十八日の「南部町ボランティアフェスティバル」において、表彰・感謝状の授与と記念品の贈呈を行いました。永年に亘る社会福祉・ボランティア活動等、地域の福祉活動にご尽力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。



▲ご出席いただいた受賞者のみなさま

◇社会福祉施設・団体職員功労者◇ (敬称省略)

所属	氏名
社会福祉法人伯耆の国	森山まゆみ
社会福祉法人伯耆の国	石倉由紀子
社会福祉法人伯耆の国	三澤 大晋
社会福祉法人伯耆の国	長門 美香
社会福祉法人伯耆の国	三輪 吉子
社会福祉法人伯耆の国	藪中 富子
社会福祉法人伯耆の国	森重 洋子
社会福祉法人南部町社会福祉協議会	国本 英子

◇ボランティア・福祉活動功労者 (個人)◇ (敬称省略)

所属役職名	氏名
南部町民生児童委員協議会	大塚 道夫
南部町民生児童委員協議会	村口 芳江
南部町民生児童委員協議会	須山 徹
会見更生保護女性会 会員	永江 恵子
西伯配達ボランティア	成瀬 和男
西伯調理ボランティア	青木由起子
会見配達ボランティア	板持 宗徳
地域福祉委員	小川須美江
地域福祉委員	後藤 俊
地域福祉委員	長尾るり子
地域福祉委員	増田 厚子
地域福祉委員	守屋 啓子
愛の輪協力員	高倉紀美子
愛の輪協力員	西重 真弓
愛の輪協力員	大塚 明美

◇感謝 (個人)◇ (敬称省略)

氏名
種 治孝





オープニングは西伯小学校金管バンドの皆さんに盛り上げていただきました！



今年も多くの皆さんに出店して頂き、盛り上げていただきました。



いぎいぎサロンなどの活動紹介、休みボランティア体験の展示も賑わいました。



作品展示、夏休みボランティア体験の展示も賑わいました。



受付もボランティアの皆さんにお世話になりました。



中学生のボランティアも大活躍でした。ありがとうございました。

たくさんの協賛品をありがとう

鳥取西部ジェイサービス さいはく山菜加工組合
 山陰管財 はしもと電器 南部町赤十字奉仕団
 清水川農事生産組合 南さいはく地域振興協議会
 ノームの糸車 前田石油店 素石油店 JICA
 山陰合同銀行 戸田商店 西伯病院 J.A.西伯支所
 鳥取グリコ 東西町地域振興協議会

うございました！

南部町祐生会いの館
 だけうち商店 AOTカーサービス
 あいみ富有的里地域振興協議会
 「鳥取町共同募金委員会 丸合
 J.A.会見支所 (順不同・敬称省略)

2018

なげよう心とこころ

Volunteer festival ボランティアフェスティバル

誰もが安心して住み慣れた地域で暮らせるまちづくりのために、「広げよう地域の絆、つなげよう心とこころ」をテーマとして、ボランティア活動者や福祉活動、地域活動に関わっている関係者が一堂に集い、顔の見える関係づくりや交流を図りながら、南部町全体の人のつながりや地域の絆を深めることを目的として開催しています。



今年のショータイムは「米子マジック同好会」と「港ベンチャーズ」さんにお世話になりました。

2グループとも大変な盛り上がりでした。



ものづくりコーナーではバルーンアートが人気でした。



鳥取県薬剤師会さんによる「薬人戦隊シヨール」の盛り上がりまりました。



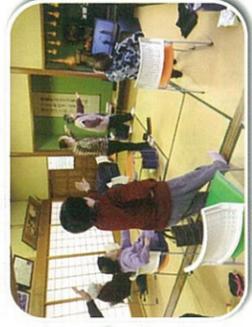
遊びコーナーは子どもにも大人気！！



最後の抽選会も盛り上がりまりました！



地域の活動紹介



100歳体操1周年を迎えて

浅井 板持 みき枝

現在、浅井地区で100歳体操を始める前に、スポネットなんぶ様に“健康づくり応援団”という形式で浅井地区の公民館でお世話になっていました。

私も仕事を退職した頃、地域の皆様より「冬場こたつの守りばかりしていて、体も固くなり、それだけでなくも足腰が悪いのに、頭も弱り認知症になってしまいわ。何か体や頭を使う事がしたい。」との声があり相談されました。

それから各戸の高齢者の方へ声掛けをし、最初は8、9人でしたが、だんだんと輪が広がりがり現在は登録人数14名になりました。

毎週月曜日の13時30分から公民館で町民歌体操・100歳体操をし、その後、脳トレで手足の軽い体操、ゲーム等をして16時頃まで、皆で楽しんで行っています。

年齢も90代3名、80代4名、70代4名、60代3名、その内1名が男性です。浅井の昔話や、お婆さんの知恵袋の話、料理の話等々とても和やかに行っています。

毎年11月、浅井地区は柿作り農家が多いのでお休みにしています。久しぶりに12月に始めると、「体が怠けていたのが痛いなー。」と言いなから、やはり運動がいかに大切な事か実感しています。

“継続は力なり” これからも楽しみながら頑張ります。



共同募金助成金を集落や団体の交流や福祉活動に活用されませんか！

『じぶんの町をよくするしくみ』

赤い羽根共同募金

受付期間

H3011月17日(金)～H311月31日(木)



じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金の仕組み

今年度の南部町の目標額 2,850,000円

約30% 県内の事業へ
県内の福祉団体・福祉施設・災害等支援活動へ使われます。

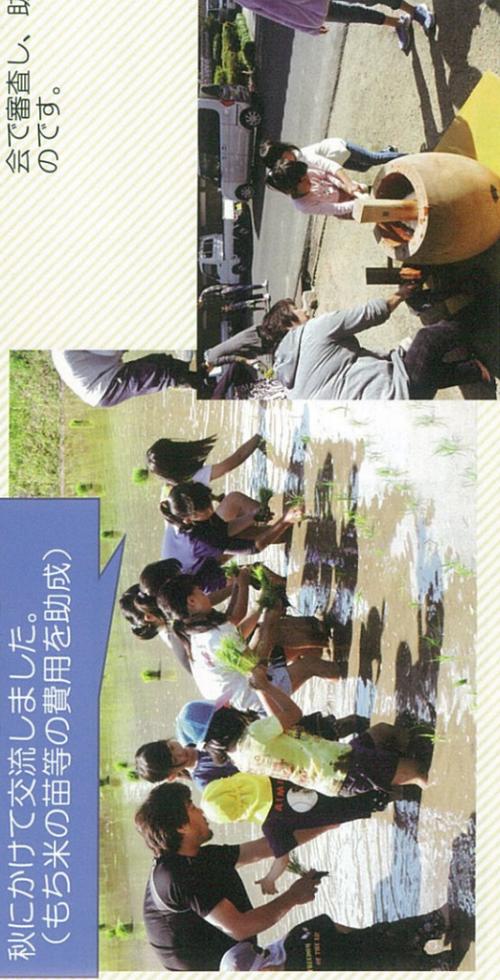
約70% 南部町の事業へ
南部町内の地域福祉活動事業に助成されます。



子ども会や老人会、それぞれでは活動しているけれど、集落内でも顔を合わすことが少なくなりましたわ。。

世代間交流事業としてもち米作りを実施。自分たちで育てたもち米でもちつき等をし、春から秋にかけて交流しました。(もち米の苗等の費用を助成)

赤い羽根共同募金は、地域ごとの課題解決に必要な使いみちの額を地域の福祉団体や集落等からの助成の申請を基に審査委員会で審査し、助成するというものです。



御内谷区
世代間交流事業

ご相談は…

南部町共同募金委員会

(南部町社会福祉協議会内) 電話 66-2900 (担当：仙田・小林)

生活困窮者自立支援事業

平成27年4月から生活困窮者自立支援制度が開始され、南部町より委託を受けた本会が「生活サポートセンターなんぶ」として相談窓口を開設して3年8か月が経過しました。

制度開始から平成30年12月現在までに129件の相談を受け、自立に向けた支援活動を行っています。具体的な支援の例をいくつかご紹介します。

- ・ 離職や解雇となってしまう方へのハローワークと連携した就労支援
- ・ 多重債務のある方へ法テラス（無料法律相談）の紹介、同行
- ・ 失業保険や傷病手当などの手続き、申請支援
- ・ 公共料金や税金などの滞納のある方への家計相談による返済計画の立案、助言
- ・ 障害のある方への病院受診同行、障害者手帳の取得、障害者年金の申請支援
- ・ 高齢者世帯や傷病などで就労が難しい場合は、福祉事務所への生活保護の申請同行
- ・ 障害者サービス利用に伴う、障害相談支援事業所の紹介、利用までの連携

相談者の話を伺いながら、関係者とともにその人に応じた包括的な支援を行うことで自立に結びついたケースも少なくありません。また、当サポートセンターの支援対象ではなかったとしても、ご相談内容に適切な機会を紹介させていただきます。

ご相談は、ご希望があればご自宅にも伺うことができます。今後も町内で生活に困った方々に寄り添い、時には伴走させていただきます、自立に向けて精一杯お手伝いをさせていただきます。

家計改善支援事業

家計改善支援事業は生活困窮者自立支援制度の任意事業として南部町より委託を受け、1年10か月が経過しました。平成30年10月1日に家計相談支援事業から家計改善支援事業に名称が改正されました。

家計表等のツールを活用し、相談者の属する世帯全体の家計収支等を評価・分析し、状況に応じた家計再生プランを作成するとともに、対象者の家計改善意欲を高めることに努めます。



具体的には

- ① 家計管理に関する支援（家計表等の作成支援、出納管理等の支援）
- ② 滞納（家賃、税金、公共料金等）の解消や各種給付制度等の利用に向けた支援
- ③ 債務整理に関する支援（各相談窓口との連携等）
- ④ 貸付のあっせん 等を行います。

世帯の家計の見える化を行い、月単位または数年先の家計推移の見通しを立て、家計計画を検討します。その後、継続面談を通じたモニタリングを行います。

相談者が自力で家計管理ができるようになり、世帯としての家計基盤が整うことにより、将来の収支変動にも対応可能になること、滞納している税・公共料金等や債務等を解消することにより、生活が安定することを目標として支援します。

町内でも本事業利用により、劇的に家計改善された方がおられます。

一人で悩まず、当サポートセンターにご相談下さい。



レクリエーション用品の紹介

スカット
ボール

人気大爆発!!



南部町社会福祉協議会では小さなお子さんからお年寄りまでみんなで楽しめるレクリエーション用具を多数ご用意しております。ここにご紹介している物はほんの一例です。貸し出しは無料です。どうぞお気軽にお問合せ下さい。



よく出てます!

釣りっこゲーム



たかが魚釣り、されど魚釣り
けっこうコツがいります
とにかく一度やってみて下さい。
意外ハマりますよ

スティック系ゲームの決定版！
グラウンドゴルフがお好きな方でもそうでない方でも大盛り上がり間違いなし！
ボードの傾斜は調整可能。ボールがあのかに結構入らないんですよこれ。いきいきサロンで大人気！

楽しく学ぼう!

防災グッズ・カードゲーム



「備えあれば憂いなし」昨年の漢字は「災」でしたよね。日頃より準備をしっかりしておけば、いかなる災害にも対処できます。そんな防災の必需品をカードでみんな遊びながら学ぶゲームです。ルールは簡単！

コミュニケーション麻雀



担当いちおし!

麻雀はちよつと・・・と思っているそのあなた！そんなこと知らなくても大丈夫！大きな麻雀パイでグループみんな楽しんでます！さあ皆さんでワイワイガヤガヤやってみましょう！ご希望であれば社協職員がご一緒致しますよ！

ありがとうございました



(平成30年12月20日受付まで)

頂戴しました寄付金は、地域福祉委員の活動費・いきいきサロン活動助成金・地域振興協議会への助成金など、地域の福祉活動の財源として活用させていただきます。

香典返し

寄付者名	集落名	故人名	金額
金 貞子	東西町4区	全 炳洙	金一封
野口 康夫	谷川	久子	金一封
仙田 慎介	安来市広瀬町	文昭	金一封
岡田 草達	高姫	草浩	金一封
篠村 俊之	天萬8番組	敏昭	金一封
内田 年彦	上落合	廣子	金一封
谷口 由香子	三本木	浩史	金一封
瀬尾 潤一	猪小路	照井	金一封
坪内 勇三	原	彌生	金一封
大西 理彦	三本木	清	金一封
後藤 守	天萬5番組	貞子	金一封
小林 薫	田住	正夫	金一封
橋谷 邦光	朝金	肇	金一封
坪倉 富人	東西町2区	要	金一封
前川 昭二	猪小路	美江子	金一封
分倉 善文	長田	明子	100,000
和田 健治	三本木中	美恵子	金一封
赤井 京二	谷川	秋子	金一封

(敬称は省略させていただきます。)

寄付者名	集落名	故人名	金額
秦野 良二	駈牛	輝子	金一封
安江 志浦子	法勝寺1区	今岡 スミ江	金一封
深田 新	奥編屋	英子	金一封
佐藤 康介	諸木	津義	金一封
山根 和文	宮前2区	文子	金一封
北尾 太一	原	惇	金一封
岡田 千年	猪小路	道之	金一封
板 淳	今長	政野	金一封
梅原 秀規	御内谷	常光	金一封
前川 美香	猪小路	昭二	金一封
三嶋 義文	天萬2番組	昭治	金一封
松本 育子	東西町4区	英機	金一封
板倉 良一	三本木	弘明	金一封
亀尾 誠二	柏尾	明正	金一封
石田 治夫	上阿賀	弘子	金一封
中山 浩二	法勝寺3区	正己	金一封
北尾 信	東西町1区	勇	金一封

◎ご寄附の際に、広報紙への掲載を同意された方のみ載せています。
◎寄附金額等の記載につきましては、寄附者ご本人の意思によるものです。

編集後記

以前に演題「心のバリアをはずして」の講演を聴く機会を得た。その内容は今尚、心に強く残るものであった。

幼児、障がい者、高齢者との共生ができる社会にするには、どのような事を知識として得る必要があるか、その時々どのような対応をすべきか、自身分らない事の多さ、どう対応すべきか考えられない事にばかりに恥ずかしくなってしまう事を思い出している。講師先生が分からない時は本人に聞いて動く事であると教えてくださりあーそうかと納得であった。

日常生活において、障がい者も健常者と同じように普通に変わらない生活が出来る社会になるよう、一人、一人もつと知る機会を得るよう、そしてささやかな事でも心を傾ける事が出来たらと講師



先生の話を聴いて思っ

た。
共生社会とは、住みやすい地域にも繋がるのではないかと講演を聴いての感想です。

(K・E)